学校番号	3032B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)実用数学	単位数	1	年次	3年次前・後期
使用教科書							
副教材等	新編実用数学セミナー（増進堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習事項の反復を通して、整数・小数・分数の四則演算、割合・速さ・利率などを学習し、計算の仕方・考え方を身につける。

2　学習の到達目標

・実際の生活で必要となる、基礎的・基本的な計算力などの知識・技能を身に付ける。
・日常生活の事象に対し、数学的な表現などを的確に使うことができる。
・学習を通して、数学のよさを感じ、これからの生活に活用していこうとする力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	整数・小数・分数の四則演算などの数学の基本的な計算力を習得し、様々な問題に対して、数学的な表現で正確に計算できるようになる。	日常生活の事象に対して、数学的な表現で表すことができ、定性的な考察ができるようになる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月(10月)		正の数、負の数の四則演算 小数、分数を含む演算	a:基本的な計算ができる。 b:数式を正しく表すことができる c:複雑な計算も、最後まで粘り強く取り組むことができる。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物
6月(12月)		比・割合 速さ	a: 比や割合の概念を理解し、正しく計算ができるようになる。 b: 日常生活に即した題材にも正しい理解ができるようになる。 c: 日常の生活の中で計算をしようとする。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物
8月(2月)		利率の計算	a: 基本的な利率計算ができる。 b: 計算機や表計算ソフトを用いて、複雑な利子やローンの計算ができる。 c: 日常の生活の中で計算をしようとする。	単元テスト 提出物	単元テスト 提出物 振り返りシート	振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度